

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2016年9月28日（水）

第670号 本号4頁

（10・5署名提出集会チラシ含む）

臨時国会、首相が所信表明 「憲法審査会 で議論を深めていこう」と暴走を宣言

臨時国会が26日開会日を迎えました。会期は11月30日まで66日間という短い設定です。安倍首相は所信表明演説で、TPP承認と関連法案成立めざすなど経済最優先を打ち出しました。経済問題などでの暴走にとどまらず、憲法問題でも世論を無視した暴走に踏み出す「決意」を述べました。

首相は演説で、事業規模約28兆円の経済対策による内需の下支えやアベノミクス加速をアピールし、「あらゆる政策を総動員する」と、アベノミクスの破たんを自ら暴露しました。短い会期ではTPP承認案を最優先する考えで、米大統領候補が反対を表明するなか、早期に衆院を通過させ、米国の批准を後押しする狙いがあるようです。民進党・共産党など野党4党は承認阻止で一致しており、今国会最大の対立点となる見通しです。

一方で、安倍首相は演説の最終部分で憲法改正問題に触れ、「与野党の立場を超え、憲法審査会での議論を深めていこう」と、自民党改憲案をベースにして野党分断、国民の間に亀裂をつくる宣言を述べました。

所信表明での憲法に関する部分

憲法はどうあるべきか。日本が、これから、どういう国を目指すのか。それを決めるのは政府ではありません。国民です。そして、その案を国民に提示するのは、私たち国会議員の責任であります。与野党の立場を超え、憲法審査会での議論を深めていこうではありませんか。

野党、「自民党改憲草案をまずは撤回を！」と共闘

安倍首相の「与野党立場を超え、議論を深めよう」との呼びかけのカギを握るのが、自民党内で審査会での議論を促進するため改正草案の棚上げ論が浮上していた、自民党憲法改憲草案の取り扱いです。8党の書記局長・幹事長は25日のNHK「日曜討論」で臨時国会にどう臨むかなどについて討論しました。この中で自民党の二階俊博幹事長は憲法審査会での論議にあたって自民党改憲草案を「撤回するつもりはない。これで審議していきたい」と明言しました。日本共産党の小池晃書記局長は「重大発言だ。自民党の改憲案は憲法の名に値しない」と批判し、憲法審査会での改憲論議は「進めるべきではない」と強調しました。民進党の野田佳彦幹事長は「自民党の改憲草案をまずは撤回するところから始めないと審議は進まない」と発言しました。

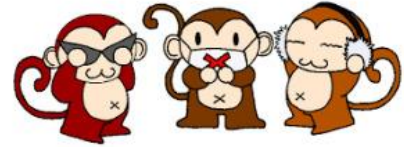
小池氏は、「野党の書記局長・幹事長会談（23日）でもこのことは確認した。結束して、今国会での強行突破は許さないために力を合わせていきたい」と語っています。

なお、27日、安倍首相は衆院本会議で、民進党の野田佳彦幹事長が改憲草案の撤回を求めたことに対して、「自民党草案を撤回しなければ議論はできないという主張は理解に苦しむ」と述べ、応じない考えを示しました。

共謀罪の提出を断念させようと、国会で290人が集会開催!

政府が名前を変え、新たに導入しようとしている共謀罪法案の提出を阻止しようと「新設に反対する院内集会」が26日、衆院議員会館で集会が開催され、290人が参加しました。集会は、新聞労連などをつくる「秘密保護法」廃止へ！全国連絡会などが共催し、戦争をさせない・9条を壊すな！総がかり行動実行委員会が協賛し、開催されました。

犯罪行為がなくても計画だけで処罰対象とする共謀罪は、過去3度にわたり国会に提出されましたが、幅広い批判を受け、廃案となりました。安倍政権は名前を「テロ等組織犯罪準備罪」と変え、今回臨時国会に提出する動きを見せましたが、日弁連会長の反対声明など反対の声が噴き出すもとで、TPP法案等他の法案との関係もあり、見送りました。しかし、来年の通常国会にも法案を提出すると見られます。断念させなければなりません。



集会では二人が講演。海渡雄一日弁連共謀罪対策部副本部長は、「共謀罪は米国で反戦運動の弾圧に乱用された。それを日本が導入しようとしている」と警告しました。また、一橋大学名誉教授の村井敏邦氏は、秘密保護法や改悪刑事訴訟法などで「盗聴や司法取引など、共謀罪を立件する手段がすでに捜査機関に与えられている」と指摘。「共謀罪は、犯罪行為があつて初めて処罰する日本刑法の原則から逸脱する」と語りました。

日本共産党の仁比聡平参院議員は「『新共謀罪』は権力の意に沿わずに声を上げる国民を監視し、抑圧する道具になる。国会への法案提出を阻止しよう」と呼びかけました。日本共産党からはさらに6人の衆参議員、そして沖縄の風の糸数慶子議員、社民党の福島瑞穂参院議員も参加し、連帯のあいさつを行いました。

「安倍政権暴走止めよう！9・26臨時国会開会日行動」に800人

臨時国会が開会した26日、戦争させない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会主催の「9・26臨時国会開会日行動」が国会議員会館前で行われました。800人が参加し、「戦争法は今すぐ廃止」「南スーダン派兵をやめろ」などと声をあげました。この行動には、日本共産党の小池晃書記局長、民進党の福山哲郎幹事長代理、社民党の吉田忠智党首、参院会派「沖縄の風」の糸数慶子代表が連帯あいさつ。小池書記局長は「市民と野党が力を合わせ、“戦争する国には絶対にしない”と声をあげていこう」と訴えました。



さらに、秘密保護法対策弁護団の海渡雄一弁護士、辺野古国会包囲実行委員会の野平晋作さん、TPP批准阻止アクションの内田聖子さん、上智大学の中野晃一さんらが、臨時国会でのTPP、共謀罪などの安倍暴走政治を許さないとの連帯挨拶を行いました。

最後に、参加者は国会に向かって「戦争法の発動止めよう」「南スーダンでの武力行使反対」等と、コールを行い、臨時国会での安倍政権の暴走を止めようと決意を固めました。

2000万人統一署名 第二次国会提出集会 10月5日

戦争法廃止を求める願いを託した国会請願署名は1400万人を超える勢いです。すでに、1350万筆を提出しましたが、その後集まってきた100万人分を超える署名を臨時国会に提出します。

各地の憲法会議、団体等に集まっている手持ちの署名は、大至急、憲法会議へ送付してください。10月5日提出します。

戦争法の廃止を求める2000万人統一署名 第二次国会提出集会

◇日時 10月5日(水)午前11時から11時45分

◇会場 衆議院第一議員会館 1F 国際会議室 ※通行証の配布は10時30分より

◇次第 主催者あいさつ、政党代表スピーチ、署名提出 等

◇主催 戦争させない・9条壊すな!総がかり行動実行委員会

【本号4ページ目として、署名提出集会のチラシを添付しています。拡散をお願いします】

各地のとくくみ

沖縄 AV8ハリアー戦闘攻撃機が墜落した事故に抗議する集会開催

23日、米海兵隊のAV8ハリアー戦闘攻撃機が沖縄本島東の沖合に墜落した事故に抗議する集会が、事故機が飛び立った米軍嘉手納基地のゲート前で開かれました。

主催は、第3次嘉手納爆音訴訟団などで、約200人が基地に向かって「米軍機を飛ばすな」「もう基地はいらない」などと怒りを込めて声を上げ、拳を突き上げました。同訴訟原告団の新川秀清団長は「事故のたびに『再発防止に努める』というが、何一つ実現していない。それが今回の事故を起こした」と抗議。米軍機が実弾を積んで訓練する場所は沖縄にしかないとして、米軍機を移駐させても、くり返し沖縄に飛来するため負担軽減にはならないと糾弾し、「人間として当たり前生きていく沖縄をつくるためには、基地をなくす以外ありません」と訴えました。



「オール沖縄」の国会議員も駆けつけ、日本共産党の赤嶺政賢衆院議員は、辺野古新基地建設をめぐる福岡高裁判決に触れ「沖縄に基地があり続けることを合理化する不当判決だ」と厳しく批判。「基地が撤去されるまでたたかいぬこう」と呼びかけました。また、社民党の照屋寛徳衆院議員は「ハリアーはオスプレイ同様に欠陥機だ。全ての米軍基地を撤去させよう」と述べました。

神奈川 弁護士会主催の憲法大集会に1800人

安保法制(戦争法)を廃止し、立憲主義を取り戻そうと神奈川県弁護士会が主催し、日本弁護士連合会が共済して、24日、横浜市神奈川区で憲法大集会を開催しました。大雨のなか、弁護士や市民など1800人が参加しました。

県弁護士会の三浦修会長が「今日の集会が立憲主義を取り戻すみなさんの活動にとって大きな力となることを願います」と挨拶しました。その後、学習院大学大学院の青木美帆教授、法政大学の山口二郎教授、神奈川新聞報道部次長の石橋学さん、東京新聞論説兼編集委員の半田滋さんが発言し、さらに県内で活動する市民があいさつしました。

青井さんは、「立憲主義を取り戻さなければならないのは私たちの問題」だと強調し、今の政治がおかしいと声を上げていく必要性を訴えました。

集会では、「安保法制の廃止を求め、憲法をないがしろにするあらゆる動きに反対し、立憲主義を取り戻すために努力する」とのアピールを採択しました。

参加した27歳の女性は、「話を聞いて、自分がいままで無関心だったと感じた。自分にできることをしたい」と話しました。

公布70年・憲法講座「今こそ、守り生かす! 日本国憲法」

*講座 渡辺 治 一橋大学名誉教授 「憲法をめぐる参院選後の情勢と課題」(仮)

*国会報告 井上哲士 日本共産党参院議員 「臨時国会の争点と戦争法・改憲の動き」

とき 10月10日(月)体育の日 午前10時30分から13時00分

ところ 全国家電会館 5階講堂 資料代1000円(学生500円)

【詳細はホームページで】